

市長の書・ちまたのニュース

第21号

2019年10月20日
日本共産党根室市議団
根室市宝林町4-203
TEL 23-6023
FAX 24-1684

激化する自然災害とこの国の政治

世界気象機関は、昨年7月に会見を開き、世界各地で異常気象が相次いでいる問題について、それぞれの原因は地域ごとに異なり地球温暖化のせいだとは一概に言えないとした上で、猛暑、豪雨、猛烈な強風などの増加は、長期的な地球温暖化の傾向と一致していると警鐘を鳴らしています。今年になつてからも、日本では台風19号、19号の大被害。いま、国政が取り組むべき優先課題は、いつした激化する自然災害への抜本的な対策ではないでしょうか？

19号並みが2年11回？

19号の原稿を書いているのは、19号の被害状況の全容わかっている時点でありません。一部マスコミ報道で知る範囲でも、過去最大級のすさまじい被害状況となつていきます。

筆者も過去に、第一次産業とりわけ昨今の海洋環境の激変による漁獲量の減少などで漁業が持続可能な産業として地域経済を支えるためには、既存の制度では成り立たなくなつておりこの環境などの大きな変化に対応した「制度設計」の見直しの必要性を行政が国に強く求めるべきと質問し

てきました。

特に最近では、台風の規模・大きさが9000キロメートル（hpa）クラスの超大型台風が発生する確率は、日本においても3年に1回程度とも言われ始めています。19号台風の報道で数十年に一度あるかないかの大被害が予想されるので「命を守る行動を」との呼びかけがありました。それ自体重要ですが、数十年に一度のような悠長なことではなく、いよいよ起きてもおかしくない程地球環境が激変していることを強く感じます。

国が自民党の幹事長が「おまのこころで収まると」発言。驚くはかりです。国の政治の第一の仕事は、

今どきの教育現場を考える

私たちが現場にいた時代には考えられないような現実が報道されたあの神戸の先生による先生いじめの事件。私たちの想像をはるかに超えた状況。最も民主的で最も自由であるべき教育現場。なぜこんな問題が学校の現場で起きているのか、何とかしたいとの思いを込めて少し書いてみました。

何処の学校でも起こる？

教育評論家の尾木ママこと尾木直樹氏は「このような事件は、どこの学校でも起こりうる。」と評論しました。また、彼らの行為について「飲み食いたかり送らせる。」「羽交い絞めにして激辛カレーを目にこすり付ける。」「ラインで性的なメッセージを女性教師に送らせる。」「などなどは、「完全に大人の犯罪！いくつもの刑法犯罪の可能性が高い。」「厳重に取り締まり厳重に処罰してほしい。」と訴えています。

さらに加害者たちの教諭の評判がすごぶるよかつたよとされること「ありがちです。」「とし、いじめをして同僚教師を卑（いや）しめ、自尊心を傷つける教師がどうして良い教師なのでしょう。」「と厳しく批判しています。

その上で尾木氏は、「職員会議が上からの伝達だけに終わりがち。教員一人ひとりが同等の人格を持った人間として自由で活発な話し合いが出来なくなっている結果だ。」「どこの学校でも起こりうる。」「と警告しているのです。

安倍政権による不当な教育現場への介入。公正な入学試験へ反対意見の強い大学共通テストの英語民間試験導入。子どもたちの未来より企業利益が優先されようとしているような教育現場のいまの姿。

興味のある人は、日本共産党中央委員会発行の「女性のひろば」10月号「フィンランド生徒一人にひとりあわせて」を読んでいただきたい。

フィンランドは、「改憲前の日本の教育基本法」をモデルに教育を充実、現在素晴らしい教育制度が確立。フィンランドの子どもたちは、ホントに幸せです。

神忠志の勝手気ままな料理教室その14（さすがにネタ切れになっていきます）

★簡単ジャーマンポテト

ジャガイモ2個、玉ネギ2分の1、ベーコン3枚、オリブ油、ニンニク、コンソメ顆粒、塩コショウ、パセリなど適当に

① ジャガイモ一口大に水にさらし、その後塩をふる ② ベーコン、玉ネギを幅切りにする ③ オリブ油にニンニク香出るまで ④ 玉ネギ、ベーコン、ジャガイモをおろしてたよ、イモは、レンジで5分程度過熱しておく（と塩コショウ、コンソメを加え、弱火で玉ネギがしんなりするまで炒める ⑤ 神のオリジナルで、温かい内にとろけるチーズを その他色付けにパセリを・・・）

（クックパッド参照）

